広　報　誌
令和３年７月
第　58　号

済生会 まつやま

特大号

▲薬局

リハビリ▶

目　　次

涙が止まらない症状、病気について …… 2
看護師長であるために …… 3
私のお気に入り …… 3
〈特集〉ヘルニアって治るといいものです …… 4
〈特集〉シモの悩みよろず引き受けます …… 5
〈特集〉人工関節手術の最前線 …… 6
〈特集〉炎症性腸疾患（IBD）専門外来紹介 …… 7
診察待ち時間が簡単に確認出来ます！！ …… 8
寄贈品のご紹介 …… 8
連携病院紹介（たんぽぽクリニック） …… 9
部署紹介（看護療養相談室） …… 9
新任医師紹介 …… 10
高齢者ワクチン接種 …… 10
研修医紹介 …… 11
当院は厚生労働省指定の基幹型臨床研修病院です …… 11
無料低額診療事業のご案内 …… 11
外来診療日一覧表 …… 12

済生会松山病院

松山病院キャラクター
なでしーさん

涙が止まらない症状、病気について

眼科　髙橋　直巳

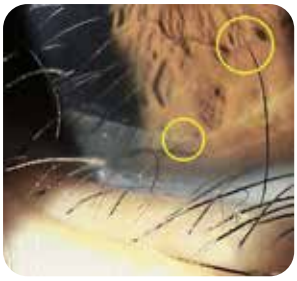
涙が多いという訴えは眼科診療で多く見られる症状です。原因として多いものは花粉やハウスダストによるアレルギー、異物混入、目の乾燥（ドライアイ）、炎症（結膜炎、眼瞼炎など）、涙道の疾患などが挙げられます。流涙症状は治療可能な状態も多くあり、症状改善または程度を改善することが可能です。気になる症状であれば眼科受診いただければ幸いです。

花粉やハウスダストによるアレルギー（アレルギー性結膜炎）

花粉やハウスダストなどにアレルギー反応が結膜に出て、涙が多くかゆみが持続することがあります。花粉症は季節性があり、ハウスダストは通年性で症状が出ます。治療は主に点眼による薬物治療です。花粉やハウスダストに接触しないように日常生活を工夫する必要があります。

目への異物混入

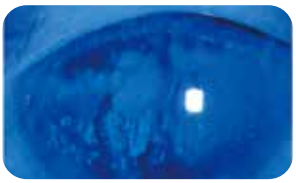
目に異物が入ると防御反応で涙が多くなり、ほとんどの場合涙で異物は出ていきますが、まぶたの裏の結膜や眼球表面の角膜に張り付いた状態になれば流涙症状が持続します。また、まぶたの形態の問題で逆まつ毛があり、眼球を刺激していても涙は多くなります。治療はいずれも異物を除去することです。逆まつ毛はまぶたの手術により完治することもあります。



逆まつ毛があり、角膜に接触しています。

目の乾燥（ドライアイ）

冬の乾燥した風にさらされた時やスマートフォンやパソコンを長時間使用した時目は乾燥しますが、その刺激で涙の分泌が増え、涙が止まらなくなるときがあります。重症化するとドライアイになりますが、涙の分泌量の減少、涙を保持する時間の低下が起こっています。治療は点眼薬で涙液の量的、質的改善を行います。



（ドライアイの涙液）
涙の安定性が低下し早く蒸発してしまいます。

炎症（結膜炎、眼瞼炎など）

主な原因は細菌やウイルスによる感染によるものです。いずれも充血や流涙症状を伴います。

黄色ブドウ球菌などの細菌性結膜炎は黄色い膿のような目やにが出ます。治療は抗生剤点眼を使用します。

ウイルス性結膜炎はまぶたが腫れ、耳の前にあるリンパ節が腫れることもあります。感染力が強いため、ほかの人に感染が広がらないように注意が必要です。ほとんどのウイルスについての特効薬はないため、ウイルスに対する抗体が体内で作られるのを待つしかありません。通常は炎症を抑え、細菌による二次感染を防止するための点眼薬を使用します。

まぶたの分泌腺に炎症が出てくると、眼瞼炎となります。抗生剤を使用しますが、点眼だけでなく、内服が必要になることもあります。目やにを除去しまぶたを清潔に保つことも重要です。

（ウイルス性結膜炎）結膜充血を認めます。

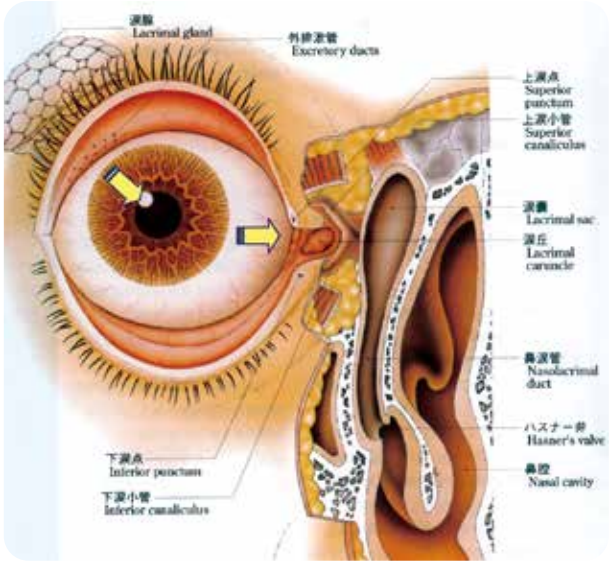
涙道の疾患

涙道は涙小管、涙嚢、鼻涙管の部位があり、涙を鼻腔に排出する器官です。涙道下部の鼻涙管が閉塞すれば涙が多くなり、微生物の感染が起きやすくなります。

感染が重症化すると涙小管炎や涙嚢炎を発症し、まぶたの腫れ、疼痛が出てきます。急性期の治療は抗生剤を使用しますが、点眼だけでなく内服または点滴を行います。

原因となっている鼻涙管閉塞については鼻涙管閉塞の手術を行います。涙道内視鏡併用涙管チューブ留置術、涙嚢鼻腔吻合術が適応になります。涙道内視鏡併用涙管チューブ留置術は、涙道閉塞を開放し、涙管チューブを留置することで、消炎まで再閉塞を予防し涙道を広げることができます。涙嚢鼻腔吻合術については、涙嚢は内側（鼻側）に骨を隔てて鼻腔と接していますが、骨を削り、涙嚢と鼻腔を吻合することでバイパスを作る手術です。鼻涙管の再建が難しい場合に適応となります。

例外として重症のドライアイがある症例では涙道の機能は重要ではないため、涙嚢摘出術を行う場合もあります。



（なみだの流れ）目の表面を潤わせた後、涙道を通過し鼻の奥に出ていきます。

看護師長であるために

外来看護師長　今村　文士

令和２年４月から外来看護師長心得として、令和３年４月からは外来看護師長として辞令をいただきました。

あっという間に過ぎ去った一年間は、新型コロナウイルス感染症対策が全てでした。

スタッフ全員も手探り状態での対応ではありましたが、皆の協力があり病院内での感染者を出すことなく今日に至っています。今年の５月から65歳以上のワクチンの接種も順調に開始され、新型コロナウイルス感染症の集団免疫確保が着々と進んでいる事を実感しています。

この執筆にあたり看護師長として何を語るべきかを考え、私がいつも心に留めている言葉を紹介することにしました。

勝海舟の言葉で、「行いは我にあり　評価は他にあり我関せず」です。素直に受け止めると、行いは俺のものだし、他人に批判されても、俺は知らないって聞こえてしまいますね、何かすごく悪いイメージに伝わります。辞書などで調べても、自分には関係ないと超然としている様子などと悪く書いてあります。実はそうではなく、「どんなことにも動じることなくクールに立ち振る舞うこと」が正解です。つまり、自分の行った全ての事は自分自身に責任がある。但し、それを評価できるのは周りの人であり決して自分でするものではない。故に、その評価に一喜一憂することなく前に進んで行きなさい、現状に甘んじることなく更なる改善を目標として次に起こる変化に対する備えをしなさい、評価されないのは、まだ自分自身の努力が足りないのですよ、自己満足にすぎないよ。上手くいかないのなら、やり方を変えてみなさい、という教えです。

もう一つ日頃から心がけているのは、スタッフ皆が平等であること。誰かだけが得をする、または誰かだけが損をすることが無いように気を付けながら従事するようにしています。

写真は、「雑草」というICLS（医療従事者のための蘇生トレーニング）チームでリレーマラソンに参加したときのものです。メンバーは、愛媛県内の様々な病院の仲間で構成されています。上段真ん中が私です。今後ともよろしくお願い致します。

私のお気に入り

施設管理係　河野　益数

コロナ禍の中で外出がなかなか出来なくなりましたが、以前は年に数回、家族で旅行に行っていました。家にはワンちゃん２匹がいるため、置き去りには出来ません。ましてや旅館などペットが泊まれる所も少なく、思いついたのが車中泊の旅でした。まずは何処に行くのか旅行会社みたいに行程表作りから。題して「河野家・遊び隊」。行程表作りだけでも楽しく、出来上がると嫁さんは行く前からネットで下調べ。もちろんキャンピングカーなど無く、自前のワンボックスカー！普段は嫁さんが通勤に使っているので改造はNG。後部トランクに布団、お水、カセットコンロなどいろんな道具を詰め込んで出発です。有名所を観光し、途中でその土地のおいしい食材を買って、宿泊は道の駅です。手作りのシェードをすべての窓にはめ込み、外からは中が覗けません。河野家では車中泊ルールがあり、宿泊場所に着いたら出発までエンジンは停止です。真っ暗なのでランタンランプを頼りに夕飯を作ります。お肉を焼いているそばからワンちゃんたちは大騒ぎです。つまみ食いをしながら晩酌タイムが最高のひと時です。翌日も観光をしてお土産をたくさん買って帰路に就くといった感じです。早くコロナが収束して、気にせず外出できる日が来ると良いですね。

特集

ヘルニアって治るといいものです

外科　髙井　昭洋

外科が扱うヘルニアは、主に鼠径ヘルニアです。そのほかにも、腹壁瘢痕ヘルニア、食道裂孔ヘルニア、傍ストーマヘルニア、臍ヘルニアなどがあげられます。 当院では、カラダに優しいとされる腹腔鏡を用いたヘルニア修復術に積極的に取り組んでいます。腹腔鏡ヘルニア手術の最大のメリットは、ヘルニア門を確実に視認できることと大きなメッシュを留置できる点です。今回は、鼠径ヘルニア、腹壁瘢痕ヘルニア、食道裂孔ヘルニア修復術の症例をご紹介いたします。

１　鼠径ヘルニア症例

症　　例：47歳男性
主　　訴：左そけい部膨隆
現病歴･現症：立位での力仕事をしている。立ったときに左鼠径部の膨隆が出現してきたため来院した。手術前日に入院。
手　　術：腹腔鏡下鼠径ヘルニア修復術(Transabdominal preperitoneal repair: TAPP)
術後経過：手術翌日から食事を開始。術後経過良好で、術後４日目に退院した。

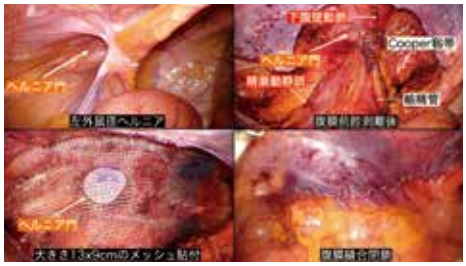
２　腹壁瘢痕ヘルニア症例

症　　例：79歳男性
主　　訴：腹部膨満感
現病歴･現症：１年６ヶ月前に前立腺癌に対しロボット支援手術を受けた。３ヶ月前の精査にて、腹壁瘢痕ヘルニアを指摘されたが、特に自覚症状がなかったために経過観察をしていた。今回、腹部膨満感が強くなってきたため、手術を希望して、外科紹介となった。
手　　術：腹腔鏡下腹壁瘢痕ヘルニア修復術
(Intraperitoneal onlay mesh repair plus: IPOM+)
術後経過：手術翌日から食事を開始。術後経過良好であり、術後４日目に元気に退院した。退院後の外来受診で、術前の膨満感は消失し、痛みもなく、元気に歩いていると話された。

３　食道裂孔ヘルニア症例

症　　例：88歳女性
主　　訴：黒色物嘔吐
現病歴･現症：整形外科にて、大腿骨頚部骨折術後、入院中であった。嘔吐が出現するようになり、上部内視鏡検査および胸腹部CT検査を施行したところ、縦隔内に全胃および横行結腸が脱出する食道裂孔ヘルニアの嵌頓と診断された。保存的治療は困難であったため手術の方針となった。
手　　術：腹腔鏡下食道裂孔ヘルニア修復術（Nissen法）
術後経過：第５病日から食事を開始。食欲は旺盛であり、術後10日目には、軟飯・軟菜を全量摂取できるようになった。術後CTにて、全胃は腹腔内にあり、再脱出は認めていない。ご飯が美味しいと回診の度に笑顔で話される。

鼠径ヘルニアや腹壁瘢痕ヘルニアの場合、患者さんは、鼠径部や手術痕が膨れているのは知っているけれども、仰向けになると引っ込むし、たまに痛みはあるけど、ずっとではないし・・と放置されていることも多いようです。良性疾患ですが、根本的治療は手術しかありません。有症状の場合、ヘルニア門が小さい（２～３cm大）場合、女性の場合などは、手術が推奨されます。手術後の患者さんからは、こんなによくなるんだったら早くしておけばよかったとの声も聞かれます。この治療は日々の些細な気がかりをなくし、生活の質の向上に大きく貢献できる治療と考えています。ヘルニアって治るといいものです。気になるようでしたら、ぜひ一度お気軽にご相談下さい。



例１　腹腔鏡下鼠径ヘルニア修復術
（Transabdominal preperitoneal repair: TAPP）
鼠径ヘルニアの場合、腹腔内から観察すると、ヘルニア門の大きさと位置を確実に診断できる。両側にあった場合でも同時に治療が可能である。

症例２　腹腔鏡下腹壁瘢痕ヘルニア修復術
（IPOM+：アイポム・プラス）
腹壁瘢痕ヘルニアの場合、ヘルニア門が大きい（５cm以上）と手術が難しくなる。腹腔内からメッシュをあてること（IPOM）に加え、ヘルニア門を縫合閉鎖する（IPOM+）ことで、より正常腹壁に復させることができる。

症例３　腹腔鏡下食道裂孔ヘルニア修復術（Nissen法）
食道裂孔ヘルニアは、強い逆流性食道炎を呈することもあれば、無症状の場合もある。本症例のようなケースはまれであるが、手術が非常に有効であった。

特集

シモの悩み よろず引き受けます

泌尿器科　白戸　玲臣

尿路（おしっこの通り道）にかかわる様々な問題を取り扱う泌尿器科です。

令和２年８月より泌尿器科医師が３人から４人に増え、パワーアップしています。

当科の取り組みをご紹介します。

● 小さな創で手術します ～体への負担が少ない腹腔鏡手術～

これまで他院に紹介していた症例も当院で手術できるようになりました。患者さんの体への負担が少ない腹腔鏡下手術を積極的に行っています。

令和２年度に行った腹腔鏡下手術

副腎摘除術（副腎腫瘍）、腎摘除術（腎癌）、腎部分切除術（腎癌）、腎尿管全摘除術（腎う尿管癌）、膀胱全摘除術（膀胱癌）、仙骨膣固定術（骨盤臓器脱）、精索静脈瘤根治術

● 増えています ～前立腺癌～

生活様式の欧米化に伴い、本来アジア人では少ないとされていた前立腺癌が年々増えています。男性の癌としては2020年以降、胃がんを抜いて最も多い癌になるといわれています。一般的にPSAという前立腺がん検診に用いる血液検査の値が4.0ng/ml以上で精密検査をお勧めしています。前立腺癌は早期発見できれば怖くありません。検査、治療の方針などを外来でわかりやすく説明しています。

実際の治療については愛媛大学医学部附属病院、愛媛県立中央病院などに紹介しています。将来的には手術支援ロボットを用いた前立腺全摘除術も当院で行えるよう、各方面に働きかけています。

● 男性の悩み ～おしっこが出しにくい。勢いが弱い。～

男性には膀胱の下に「前立腺」という男性特有の臓器があり、膀胱にたまったおしっこは前立腺内のトンネルを通って外に出ていきます。加齢とともにこの前立腺は少しずつ大きくなり（前立腺肥大症）、排尿困難の一因となります。前立腺肥大症による排尿困難に対して、さまざまな内服薬による治療が行われますが、薬では症状が良くならない、効果が不十分であるといった方もたくさんおられます。このような方に対して、経尿道的な（お腹を切らない）前立腺の手術をお勧めします。電気メスを使った従来法（主に下半身麻酔。比較的短時間の手術。あまり大きくない前立腺肥大症に適している。）やレーザーを用いた手術（主に全身麻酔。若干手術時間が延長するが、出血が少ない。大きな前立腺肥大症にも対応できる。）を行うことで、気持ちよくすっきりした排尿を取り戻すことができます。それぞれの患者さんに適した手術法をお勧めします。

● 女性の悩み ～下からナスビが出てきた。～

女性特有の悩み事に「骨盤臓器脱」があります。長年頑張って膀胱や子宮や直腸を支えてきた筋肉や靭帯が次第にお疲れになり、たるんでくることで、膣から膀胱や、子宮、直腸が顔を出すようになります。これらを総称して「骨盤臓器脱」と呼びます。巷では「ナスビがでる。」と表現されることもあります。常に下半身に違和感があったり、痛みや出血、排尿障害の原因となったりします。非常に不愉快な状態ですが、誰にも相談できず抱え込んでしまっている方がたくさんおられます。小さな創の腹腔鏡手術で治療ができます。たるんできた膣壁を腹腔内に吊り上げ、たるみをとることで膀胱や子宮、直腸の飛び出しを元に戻します。少し勇気を出してご相談いただければ、すっきりした生活を取り戻すことができます。

● すぐに来てください ～赤いおしっこ～

尿路結石、膀胱炎など赤いおしっこ、血尿が出る原因は色々あります。その中でも最も気を付けなければならないのは膀胱癌に代表される尿路の癌です。膀胱癌による血尿の特徴としては「痛くない。自然に止まる。」です。赤いおしっこが出てびっくりしても、症状がなく自然に止まってしまうことでなんとなく安心して様子を見てしまうことがよくあります。検査は外来で簡単にできます。すぐにいらしてください。

「家から一番近い病院で」泌尿器科の治療が完結できることを目標にしております。人に言えない「シモの悩み」、勇気を出してこっそり気軽にご相談ください。

特集

人工関節手術の最前線

整形外科　井関　順正

本年度より、当院整形外科は常勤医が５人と今までより１人増えさらにパワーアップして診療を行っております。

当科では、外傷手術はもちろんのこと、肩・膝・手関節鏡を用いた低侵襲手術にも力を入れており、関節鏡下肩板縫合術やバンカート修復術、半月板縫合術や靭帯再建術など、幅広く手術を行っております。

また、ナビゲーションを用いた人工膝関節/股関節の手術も施行しております。

近年、高齢化に伴い、変形性関節症に悩まれている患者さんは増加傾向にあり人工関節手術も増加しております。

人工関節は、設置角度、設置位置、サイズを正確に入れる必要があり、そのためにナビゲーションシステムは非常に有用な手段と考えられます。

カーナビゲーションで到達位置を登録しておくと、目的地に正確に到達できるのと同様に、ナビゲーションシステムを用いた人工関節置換術では、手術中に患者さんの関節と手術器具に位置情報を知らせるアンテナを設置し、患者さん自身の変形の状態や骨の形をコンピュータ上に映し出すことができます。

手術中にリアルタイムで現在の状態を確認できるため、正確に手術を進めることが可能です。

人工膝関節手術において、インプラントを体重のかかる軸に対して正しく設置すること、良好な軟部組織のバランスを正常に近い状態にすることが、手術後の成績を向上させるためにとても重要です。

また、人工股関節手術においては、骨盤側と大腿骨側にそれぞれインプラントを設置しますが、至適な位置、角度に設置しないとインプラントどうしがぶつかり脱臼が生じたり、股関節の動きが術後に悪くなることがあります。

また、インプラントの早期緩みの原因にもなります。

ナビゲーションを用いない手術では、症例や術者により、設置にばらつきが生じるという問題がありましたが、ナビゲーションを用いればこの問題を解決できると考えられます。

また、変形性膝関節症の治療として、膝関節周囲骨切り術という方法もあります。人工膝関節手術との違いは、ご自身の関節を温存することができ、膝関節機能を維持することができるということです。

下肢のなかで、体重の通るラインは大腿骨頭の中心から足関節の中心までと考えられており、正常な膝の場合、このラインは膝のほぼ中心を通ります。しかし、変形性膝関節症の方は、このラインが膝の内側（O脚）、もしくは外側（X脚）に傾いていることが多く、歩くたびに膝の内側・外側どちらか一方に偏って負担がかかっている状態です。それを膝の中心から正常な部分に体重がかかるように矯正する治療が、膝関節周囲骨切り術です。この手術では自分の膝関節が残るため、手術後、特に生活上の制限はなく、スポーツや趣味、職場復帰することが可能です。これもナビゲーションを使用することにより、より正確にアライメント矯正を行うことができます。また、同時に関節鏡を用いて関節内の処置も行うことができるため、術後高い満足度を得ることができる手術と考えます。

県内でも数施設しかナビゲーションを用いた手術を行っていません。

このように高度な医療を提供できると考えますので、痛みや変形、可動域制限などにより生活や運動に制限がある方は、いつでもご相談に来ていただければ幸いです。

特集

炎症性腸疾患(IBD)専門外来紹介

内科　八木　専

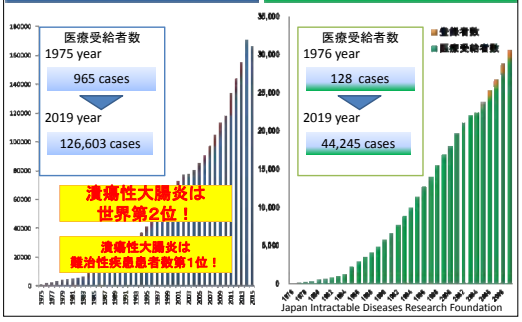
炎症性腸疾患（IBD）は持続的あるいは良くなったり悪くなったりを繰り返す腸の病気で、消化器内科で扱う病気のなかでは非常に対応が難しいものの一つです（図１）。主に潰瘍性大腸炎とクローン病を示す総称であり、済生会松山病院ではその専門的な診断・治療を行う『IBD専門外来』を立ち上げました。

図1　炎症性腸疾患　病態

潰瘍性大腸炎は大腸の粘膜に炎症が起こり、びらんや潰瘍ができる病気で、下痢、血便、腹痛などの症状があらわれます。クローン病は小腸や大腸の粘膜に炎症が起こり、下痢や腹痛が主な症状ですが、体重減少や肛門の異常をともなうことも多いのが特徴です。

IBD患者数は年々増加し、潰瘍性大腸炎の特定医療費受給者は12万人以上(人口10万あたり100人程度)、クローン病の特定医療費受給者数は約４万人(人口10万人あたり27人程度)と考えられています（図２）。四国内では愛媛県が一番多く、やはり増加傾向にあります。また、10歳代後半から30歳代前半といった比較的若年に発症するのが特徴です。

図2　炎症性腸疾患　患者数推移(2019年度)



IBDは、感染性腸炎など他の炎症性疾患との鑑別が重要とされています。まずは病歴聴取と身体診察による特徴的な所見から可能性を疑い、内視鏡検査をはじめとした画像診断によって確定します（図３、４）。

図3　潰瘍性大腸炎-内視鏡検査-

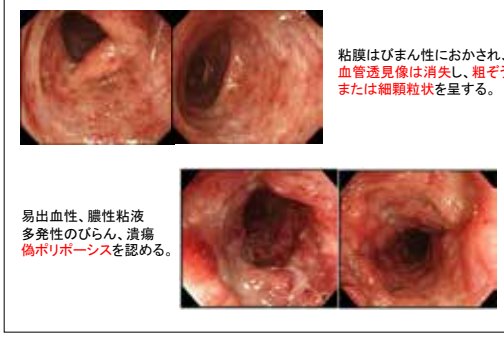
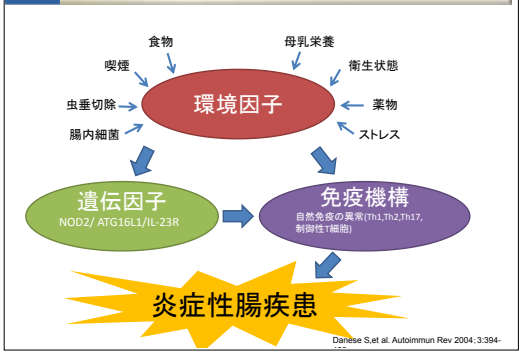


図4　クローン病-内視鏡所見-

IBDは厚生労働省の特定疾患（難病）に指定され、現在も研究が続けられています。原因不明の疾患のため、完全に治る治療法は確立されていません（図５）が、ここ数年の治療薬の進歩により、炎症をコントロールすることは可能となってきました。一人一人の病状にあわせて薬を選択し、日常生活に問題を感じることなく過ごしていただけています。

図5　炎症性腸疾患　原因



愛媛県下でIBD専門外来を開設しているのは、愛媛大学医学部附属病院、愛媛県立中央病院、松山赤十字病院と済生会松山病院の４施設のみとなります（2021年５月現在）。現在、当院では２名の医師でIBD専門外来診療を行っています。２名ともに炎症性腸疾患学会に属しており、大学病院在籍時にもIBDの診療、研究を中心に担ってきた経歴があります。現在までの知識、経験をもとに患者さんの病状のみでなく日常生活を送るうえで最適な治療法を選択するよう努めております。IBDの症状でお困りの際には、当院IBD専門外来にご相談ください。

診察待ち時間が簡単に確認出来ます!!

携帯電話をお持ちの方は、QRコードでお呼出状況の確認ができます。また、ご登録いただくと〝メールでお知らせ〟いたします。

受付票のバーコードをリーダーにかざしてください

呼出状況確認サービス（WEB機能）

呼出状況通知サービス（メール通知機能）

寄贈品のご紹介

アイスクリーム

お魚弁当

企業・施設名	寄贈品名	数量
日本航空 株式会社 様	あられ・おかき	100袋
株式会社 日立製作所 様	フェイスシールド	100枚
カフベンテック株式会社 様	パルスオキシメータ	5個
花王 株式会社 様	詰め合わせセット	100セット
道後プリンスホテル 様	弁当	100食
南商事株式会社 様	アイスクリーム	380個
松山刑務所 様	アイソレーションガウン	300枚

※令和２年８月号に掲載したものは除いています。

連携病院紹介

医療法人ゆうの森 たんぽぽクリニック

理事長　永井　康徳

【概要】2000年四国初の在宅医療専門クリニックとして開業。現在は８名の常勤医師他によって松山市全域（一部地域除く）への訪問診療を実施しています。患者様の病院から在宅への移行や在宅での療養をより安心なものとするため2016年には有床診療所化し、また重度患者様や看取りのケースにも積極的に関わっています。西予市明浜町のへき地診療所「たんぽぽ俵津診療所」も運営しています。

【特長】開業当初より在宅患者様への24時間365日対応を実施し、また歯科診療、訪問看護、訪問リハビリなどの他医療サービスやケアマネジメント、訪問看護あるいは鍼灸マッサージ、訪問栄養指導などの介護サービス等も実施し、多職種が多方向から関わることで、在宅療養をされる患者様がさらに安心してご自宅での生活を継続できるよう支援しています。また「最期まで口から食べる」ことを目指す食支援などにも積極的に取り組んでいます。

【問合せ】皆様の在宅療養に関わる様々な疑問や不安に対しては、専門スタッフが対応する「なんでも療養相談室」（お問合せ専用ダイアル0120-72-8104・月-金10:00-16:00）を設けています。済生会松山病院様からのご紹介やお問合せも、この「なんでも療養相談室」を通して日頃より連携させて頂いていますので、在宅療養へのご質問等ございましたら、どうぞお気軽にお問合せください。

― 医療法人ゆうの森 たんぽぽクリニック ―

診療科目　内科・訪問診療

松山市別府町444-1　TEL：089-911-6333

病床数…16床

外来診療時間…月･水･金　9:30 ～ 12:00（予約制）

部署紹介　看護療養相談室

看護療養相談室は、病院内でふだん患者さんが行き来する廊下から少し奥に入った、眼科外来・婦人科外来の先の静かな場所にあります。こんな所にも部屋があったのか…と思うような場所ですが、多くの患者さんが出入りされています。ここは糖尿病の患者さんの療養支援を行っているお部屋です。

スタッフは、糖尿病看護認定看護師２名、愛媛糖尿病療養指導士１名の３名です。この部署の業務は、医師から指示のあった患者さんの療養支援を行っています。主な業務の内容は療養相談・フットケア・透析予防指導・リブレプロ検査などです。療養相談は、①糖尿病に関する知識の提供　②生活状況の聞き取り　③血糖自己測定の振り返り　④低血糖指導　⑤インスリン導入・自己注射指導などを行っています（55件/月）。フットケアでは、糖尿病のある方に足観察が必要な理由を伝えたうえで、①足を観察　②神経障害の有無を確認　③足の状況を伝達　④足を守るための観察方法・ケアの方法を説明　⑤必要時は足浴・爪切りを含むケアを実施しています（115件/月）。糖尿病透析予防指導は2016年４月から開始し、透析予防指導の専任医師、管理栄養士、看護師が同一日に指導を行っています。これは大事な腎臓をまもる方法を学習するためのものです。2018年10月からは、高度腎機能障害患者指導加算の算定も行っており、これには運動療法の指導が必要であるため、理学療法士も指導に加わりました。又、当院では透析予防指導を行っている全患者さんを対象に腎臓カンファレンスを行い、この場で患者さんの治療方針を決めたり、評価・修正を行ったりしています。リブレプロ検査は、14日間持続的にグルコースを測定する検査ですが、装置の装着から取り外し、生活の振り返りまでの過程を看護療養相談室で行っています。忙しい毎日ですが、「ありがとう」「いい話が聞けた」「足が気持ちよかった、ぽかぽかする」という患者さんの声が、私たちの励みになります。患者さんの話をよく聴き、患者さん個々に合った支援ができるよう、みんなで協力して今後も頑張りたいと思います。

新任医師紹介

麻酔科
西田　賀津子

1992年度愛媛大学医学部麻酔科に入局して以来、県内の主要病院にて手術麻酔、周術期医療、集中治療、後進育成に携わってきました。麻酔について、ご不明な点があれば遠慮なくお尋ねください。

外科
髙井　昭洋

平成６年に愛媛大学を卒業後、外科医として修練を重ねて来ました。専門は消化器外科（胃･大腸がん、急性虫垂炎、胆石症など）･一般外科（ヘルニア、外傷など）です。手術は患者さんに一時的に痛い思いを強いる治療です。その痛みをできる限り軽減できるよう、キズの小さな内視鏡外科手術を積極的に取り入れて診療してゆきたいと思っています。

外科
山元　英資

2021年4月に赴任した外科の山元英資です。1998年に愛媛大学を卒業しました。専門は消化器・一般外科で胆石症・鼡径ヘルニア等の良性疾患、胃癌・大腸癌等の悪性腫瘍、虫垂炎・胆嚢炎・腸閉塞等の緊急疾患等の診療を行っております。積極的に腹腔鏡手術も取り入れ低侵襲な治療を心掛けています。宜しくお願い申し上げます。

泌尿器科
飯尾　浩之

2021年1月途中から勤務させていただいております。泌尿器科の飯尾浩之と申します。西条市出身で高知大学を卒業後、松山市内では4つ目の病院での勤務となります。昨年まで愛媛大学で大学院生をしていました。微力ではございますが、少しでも貢献できるように頑張ります。

整形外科
高須　厚

2021年4月に整形外科に赴任しました高須厚と申します。手術加療については一般的な疾患・外傷の手術であっても、受けられる方はその1回の手術が全てです。妥協を許さず、期待に応えられる治療を行っていきたいと思います。医学的な適応を踏まえた上、背景・環境・患者様のニーズを総合的にみて、少しでもより満足いただける医療を提供できるようお手伝いしたいと考えています。

内科
新居田　一貴

2021年４月より当院内科に赴任しました、新居田 一貴（にいだかずき）と申します。2019年３月まで当院で勤務をしており、その後は今治、愛媛大学での勤務を経て当院に再赴任となりました。消化器疾患を中心に、幅広く診療を行っております。少しでも松山の医療の貢献し、皆様のお力になれればと思います。よろしくお願いします。

泌尿器科
澤田　貴虎

初めまして、4月から泌尿器科に赴任した澤田です。出身は大洲で、愛媛大学医学部卒業です。趣味は野球です。阪神タイガースの調子がいいと自分の体調も良くなります。今年はここ数年で最も元気です。丁寧な診療を心掛け、地域に貢献できるよう精進します。よろしくお願いいたします。

脳神経内科
細川　裕子

この度、脳神経内科医師として勤務させていただくことになりました、細川裕子です。神経疾患を中心に診療させていただきます。患者さんに寄り添った丁寧な診療を心掛け、患者さんとともに自分も成長できるように努力したいと思います。よろしくお願いいたします。

循環器内科
石村　泰裕

2021年４月より赴任しました循環器内科の石村泰裕と申します。愛媛大学を卒業して愛媛県立中央病院で初期研修を行い、愛媛大学医学部附属病院での勤務を経て現在に至ります。まだまだ未熟な点も多々ありますが、日々精進して参りますのでどうぞよろしくお願い致します。

内科
村上　主樹

2021年４月より内科に赴任しました村上主樹（かずき）と申します。平成30年に愛媛大学を卒業し、済生会今治病院で２年間の初期研修を行った後、愛媛大学医学部附属病院で１年間勤務し、消化管・肝胆膵分野を中心に内科全般について学びました。専攻医という立場であり、まだまだ若輩者ではございますが、患者さんに寄り添った医療を心掛け日々精進してまいります。今後ともよろしくお願いいたします。

整形外科
竹本　颯太

2021年４月から勤務させていただいております竹本颯太と申します。外来診察では丁寧に診るように、入院患者さんにはなるべく元通りの生活が送れるように、多職種のスタッフと協力して診療に当たらせていただきます。済生会の理念に則り、患者さん一人一人に寄り添った医療を提供できるように心がけます。

整形外科
井上　直弥

2021年４月より赴任しました整形外科の井上直弥と申します。愛媛大学医学部を卒業し、専攻医として腰痛などの慢性的な疾患から四肢外傷や骨折外傷を中心に診療にあたらせていただいております。日進月歩の医学から正しい知識、正しい技術をもって患者さんに還元していきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

高齢者ワクチン接種

65歳以上の高齢者向けワクチン接種が5月31日から始まりました！

受付

医師による問診

接種

研修医紹介

石﨑　晴也

今年４月より初期研修医として２年間勤務させていただきます、石﨑晴也と申します。生まれは松山で、京都大学を卒業した後、社会人を経て大阪大学医学部を卒業しました。社会人として得た経験を生かし、当院で患者さんに寄り添い、患者さんの力となれるような医師を目指して、今後とも精進して参ります。宜しくお願いいたします。

稲垣　　遼

今年４月より研修医として２年間研修させていただきます稲垣遼と申します。松山出身で愛媛大学を卒業しました。日々学ぶことばかりですが、少しずつ成長することができていると感じております。少しでも皆さまの力になれるように、精進して参りますのでよろしくお願い致します。

井門　未来等

今年４月より初期研修医として勤務させていただいております井門未来等と申します。私は今治市出身で愛媛大学を卒業しました。この済生会松山病院で１年間研修させて頂きます。多くの方にご指導頂きながら、松山の地域医療に貢献できるように日々努力して参りますので、何卒よろしくお願い致します。

金澤　壮健

今年４月より初期研修医として勤務しております金澤壮健と申します。愛媛県大洲市出身で、愛媛大学を卒業しました。来年は愛媛大学病院で研修し、３年目から専門の科を決めることになりますが、この１年は視野を広く、どの分野にも興味を持ち積極的に学んでいきたいと思います。未熟者ではありますが、患者さんに貢献できるよう日々精進して参りますので、今後ともどうぞよろしくお願い致します。

寺下　誠人

今年４月より初期研修医として勤務させていただくことになりました、寺下誠人と申します。出身は兵庫県ですが、中学、高校、大学と愛媛で過ごしているためこちらで過ごした人生の方が長くなりました。大学とのたすきがけ研修となりますので１年間済生会松山病院で勤務させていただきます。指導医の先生方をはじめ多くのメディカルスタッフの方々に支えられ充実した研修生活を送れております。まだまだ未熟者ですが患者さんの必要とされている医療を提供できる医師になれるよう日々知識を増やし、精進して参ります。今後とも宜しくお願いします。

当院は厚生労働省指定の 基幹型臨床研修病院 です

当院では、十分に経験を積んだ指導医の監督、指導のもと外来・病棟に研修医（医師免許取得後２年間）を配置しております。研修医は当院の臨床研修の理念、基本方針のもと基本的診療能力の修得を目指し研修を行っています。日本の将来を担う医師育成のため、皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

《臨床研修の理念》

当院の理念「済生会精神に基づき地域の医療・保健・福祉の充実」の下、社会人としての規律を守り、医師として思いやりのある人格をかん養し、将来の専門性にかかわらず医学・医療の社会的ニーズを認識しつつ、日常診療で頻繁に遭遇する病気や病態に適切に対応できるよう、プライマリ・ケアを中心とした基本的診療能力を修得する。

《臨床研修の基本方針》

厚生労働省による初期臨床研修到達目標達成を基本とし、以下を修得する。

(1)　医療の社会的役割を認識し、良質な医療で地域社会に貢献する。

(2)　医療人として、医学的のみならず心理的・社会的側面からも捉え、患者・家族との良好な人間関係を確立したうえで双方が納得できる医療を行う。

(3)　チーム医療の一員としての役割を理解し、スタッフと協調しつつチーム医療の実践に努める。

(4)　自身の基本的な知識・技術の向上に努める。

(5)　研修医同士で知識・経験を共有し、また後輩研修医への指導を行う。

(6)　医療安全（院内感染・安全管理）への配慮を怠らないこと。

● 無料低額診療事業のご案内 ●

当院は社会福祉法人であり、社会福祉法第２条３項の規定により**無料低額診療事業**を行っています。
下記の方は対象となる場合がありますので、**地域連携室**にご相談ください。

【無料低額とは？】

病気・けが等により、生活に困難をきたす恐れのある方、経済的理由により適切な医療を受けることができない方に対して、患者負担分の全額または一部を免除し、安心して医療を受けていただく事業です。

【対象になる方々は？】

- 生活保護基準またはそれを若干上回る方
- 市町村非課税世帯の方
- 行き倒れ、路上生活者
- ＤＶ（ドメスティックバイオレンス）、高齢者虐待被害にあっている方
- その他経済的理由により診療費の支払いが困難な方

【お問合せ先】

済生会松山病院　地域連携室　医療ソーシャルワーカー（ＭＳＷ）　089-951-6111㈹

外来診療日一覧表

2021年5月17日

診療科	診察		月	火	水	木	金	土	備考
内科	午前	再診	村上英	岡田	八木	岡田	村上主	担当医	
			玉井	宮本	清水	村上英	佐藤		
			新居田			八木			
						山田			
		初診	初診担当医						
		ＩＢＤ外来	村上英		八木	村上英		村上英	
						八木		八木	
	午後	急患	午後担当医（紹介・救急のみ）						
甲状腺・糖尿病センター	午前	糖尿病	堀	宮岡	宮岡	梅岡	宮岡		
				梅岡	堀		梅岡		
				堀					
	午前	甲状腺	渡部						
腎臓内科	午前	初診・再診				西村			午後は予約のみ
	午後	予約				西村			
循環器内科	午前	初診・再診	渡辺	佐伯	中尾	渡辺	佐伯（第2・4週）	担当医	
			石村	初診担当医		仁志川	初診担当医		
		心臓リハビリ（予約のみ）			佐伯	佐伯	末廣		予約のみ
	午後	急患	午後担当医（紹介・救急のみ）						
		予約	渡辺			渡辺			予約制
		禁煙外来（予約）				渡辺			
呼吸器内科	午前						上田		
心臓血管外科	午後	初診・再診	西村（第１・３週）						受付 13：30～16：30
脳神経内科	午前	初診・再診	矢部	矢部	細川	矢部	細川	担当医	※土曜予約のみ
					吉田				
	午後	物忘れ外来	矢部						予約制
		パーキンソン病外来				宮上			予約制（月２回不定期）
放射線科	午前	初診・再診		山本昌	山本昌				
健診センター	午前		梅岡	沖田	担当医	山本昌	山岡		
	午後		担当医	担当医	担当医	担当医	担当医		
外科	午前	初診・再診	髙井	山元	山元	髙井	小坂	担当医	
			小坂	田中仁		田中仁			
		予約			安岡				
	午後	予約			安岡				
			手術	検査	手術	検査	手術		
乳腺外来	午前	初診・再診					日下部		受付8：30～11：00
呼吸器外科	午後	初診・再診					担当医		〈呼吸器外科外来〉13：30～16：00
整形外科	午前	初診・再診	井関	田窪	田窪	井関	田窪	担当医	
			高須	井関	高須	高須	竹本		
			井上	竹本	竹本	井上	井上		
	午後		手術	手術	手術	手術	手術		
脳神経外科	午前	初診・再診	楠	古川	楠	畠山	楠	担当医	
			畠山	田中寿		田中寿	古川		
	午後	急患	午後担当医（紹介・救急のみ）						
		頭痛外来（予約） ＳＡＳ外来（予約）		田中寿		田中寿			予約制
		禁煙外来（予約）		楠					
			検査	検査	手術	手術	検査		
婦人科	午前	初診・再診	帆足	帆足	帆足	帆足	帆足	帆足	午後は予約制
	午後	予約		帆足	手術		帆足		
泌尿器科	午前	初診・再診	白戸		横山	飯尾	白戸	飯尾	※火曜日は予約のみ ※午後は予約制・急患のみ
					澤田		雑賀（第1・3・5週）	澤田	
							横山（第2・4週）		
		予約	飯尾	新井（第1・3・5週）		白戸			
				西村（第2・4週）					
	午後		手術	手術	検査	検査	検査		
眼科	午前	初診・再診	髙橋	髙橋	髙橋	髙橋	髙橋	髙橋	午後は予約制
	午後	予約	検査	検査	手術	検査	検査		
皮膚科	午前	初診・再診	緑川	緑川	緑川	緑川	緑川	佐山（第1週）	
				河野				吉田（第3週）	
形成外科（皮膚腫瘍）	午前	初診・再診	三宅	三宅	三宅（第1・3・5週）		三宅	三宅	
					浅野（第2・4週）				
	午後		手術	手術	手術		手術		予約・手術のみ
耳鼻咽喉科	午前	初診・再診	勢井		担当医	担当医			

＊平日……受付時間　午前11:30迄（整形外科　午前10:30迄）
＊第１・３土曜日午後休診 …… 受付時間　午前10:30迄（※第２・４・５土曜日は休診）
＊この表は随時変更することがあります。

済生会　まつやま
第58号
発行人　宮岡　弘明　令和３年７月発行
発行所　〒791-8026　松山市山西町880番地2
社会福祉法人 恩賜財団 済生会松山病院
TEL：０８９－９５１－６１１１
FAX：０８９－９５３－３８０６

本誌へのご要望・ご感想　募集

本誌に関する要望、感想等を募集しております。お気付きの点などありましたら、病院1Fロビー中央に設置している意見箱へお入れください。みなさまからのご意見、お待ちしております。

院内誌編集委員会